

農業会議だより

第21号(令和元年9月)発行:一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農業者年金加入推進特別研修会を開催
2. 認定農業者経営発展研修会を開催
3. 農業経営戦略セミナーを開催
4. 農業簿記講習会を開催
5. 農業法人協会視察研修会を開催
6. 全国農業新聞・全国農業図書の普及推進
7. 常設審議委員会の結果(7・8月)、行事予定

1. 令和元年度農業者年金加入推進特別研修会を開催

農業者年金基金・JA佐賀中央会
・当会議は、農業者年金制度の内容について理解を深め、より一層の加入推進を図るため、7月25日、佐賀市で研修会を開催し、年金加入推進部長や女性農業委員・推進委員、農業委員会・JA職員等約130名が出席されました。

はじめに、昨年度の「新規加入者部門」で全国第10位となった唐津市農業委員会（新規加入者数20名）及び「新規加入者部門(20歳から39歳)」で全国第7位となったJAさが（20歳から39歳の新規加入者数19名）に対し、農業者年金基金より表彰が行われました。唐津市農業委員会におかれては3年連続の表彰となり、加入推進に大きな功績を挙げられています。



次に、農業者年金基金の内畠審理役より農業者年金制度や加入推進のポイントについて説明があった後、特定社会保険労務士の福島邦子氏より「こんなに有利・安心！農業者年金」と題し講演をいただきました。高齢者世帯の収入の大部分を年金が占めており、人生100年時代に向けてどうやって年金を増やしていくか



という視点から、公的年金制度の解説を交え、農業者年金制度のメリット等を説明されました。福島氏は自らも農業者年金の加入者であり、家計の状況に応じて保険料を増減したことや、年金資産の確認方法などご自身の加入状況をもとに話され、参加者は興味深く聞かれていました。

さらに、加入推進の取組事例について、熊本県あさぎり町の女性農業委員・加入推進部長である宮原久子氏に発表いただきました。あさぎり町では近年、目標数4～6人に対し、16～19名の加入実績を挙げられています。宮原氏は、戸別訪問の際には、対象者本人の他、祖父・祖母まで含めた家族の同席を求めており、本人のみでは若くて保険料を掛けられないため返事ができない、家族の後押しが必要だと、推進の経験を踏まえ話されました。自身も子育てが一段落し、経済的に余裕が出た50歳で農業者年金に加入されており、今後も加入者を増やしていけるように活動し、農業者の老後が安定したものとなるように努めていきたいと語られました。

令和元年度新規加入状況

新規加入目標 62人

目標達成市町

4月～7月実績 14人（達成率23%）

鳥栖市、多久市、玄海町、大町町



2. 令和元年度認定農業者等経営発展研修会を開催

佐賀県やJA中央会、JAさがと当会議等が構成する「県担い手育成総合支援協議会（会長：坂井邦夫・農業会議会長）」が運営する「さが農業経営相談所」の主催で、8月5日に佐賀市「グランデはがくれ」にて研修会を開催し、県内の認定農業者や関係機関・団体ら約75人が参加されました。

今回は、6次産業化をはじめとする「農村ビジネス」がテーマ。

はじめに、県農政企画課の佐伯志津子係長が農村ビジネスの概要を説明。農産物の生産、加工、販売を行う6次産業化はもとより、農家レストラン、農家民宿、体験農園など地域の資源・魅力を活かしたビジネスで、農業経営の所得向上につながる取組であると解説されました。



（さが農村ビジネスサポートセンターHPより）

続いて、別府大学国際経営学部の森宗一先生に「農村ビジネスにチャレンジする前に考えておくこと」と題し、農村ビジネスにチャレンジするまでのステップやビジョン作りなどについて講演していただきました。ビジネスでは、目的・目標を明らかにし、自社の現状分析を行うことが必要で、「困ったこと」を抽出することが大切であると話されました。さらに、自分たちの将来を変えるために「成功」を目指すのではなく「成長」を考え、いきなり多角化に着手せず、他にできることがないか（浸透戦略・新市場開拓・製品開発）を十分に見直す必要があると語られました。

農村ビジネスは佐賀県独自の取組ということもあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

3. 農業経営戦略セミナーを開催

～人材確保・育成をテーマに研修・意見交換～

佐賀県担い手育成総合支援協議会（さが農業経営相談所＝事務局：県農産課・農業会議）は、8月26日に佐賀市において、「農業経営戦略セミナー」を開催しました。

このセミナーは、担い手の効率的かつ安定的な農業経営を支援する目的に、農業経営者等が抱えている共通の課題である「人材確保・育成」をテーマに開催した



もので、県内の農業法人の若手経営者等25人が参加されました。

まず、参加者全員から経営概要と雇用状況を交え1分スピーチを行った後、別府大学国際経営学部の森宗一氏に「農業経営戦略と人材確保・育成」と題して講演をいただきました。

森氏は、経営戦略とは「社員にゴールを提示する」、「自分たちの強みをつくる」、「皆が統一した基準を持つこと」と解説され、さらに社員教育において意識すべき3つの心構えとして、「長所・短所を把握し、不完全さを受け入れる心構え」、



「相手と向き合う心構え」、「責任感を持ち、相手にも持たせる心構え」が大切と熱弁されました。

この後、グループディスカッション（3班）で講演の気づきをシェアし、全体討議を行いました。参加者からは「思い描いていた農業のイメージと違っていたのか離職率が高い」、「社員と向き合いうまくコミュニケーションをとることが大切」、「自ら考え実行できる“人財”となってほしい」等の人材育成の課題を交え、課題解決策の意見が出されました。

4. 農業簿記講習会を開催 ～複式簿記の基礎を学ぶ～

農業を取り巻く情勢が厳しい中、農業経営を改善・発展させるためには、経営と家計の分離を図り、自らの経営状況を的確に把握・分析することが大切であり、そのためには複式簿記による記帳が最善です。



このため、農業会議では、経営感覚に優れた農業の担い手を育成・支援するために、市町農業委員会や農林関係課、農業改良普及センター等に参加者の募集を依頼し、全5回コース（7/30～8/27）で「農業簿記講習会」を開催。複式簿記の基礎を学びたいと22名が参加されました。

受講者のほとんどが複式簿記未経験者であり、最初は聞き慣れない用語に戸惑いながらも簿記の原理原則から複式簿記の一連の流れについての座学や簿記ソフトによる実践演習を通じ、開始貸借対照表の作成や取引の仕訳、決算修正、決算書の作成などについて習得しました。

講習会を受講された多くの方から「簿記記帳の基礎を学ぶことができた。さっそく今年分から複式簿記に切り替えたい」、「複式簿記によって自らの経営状況をしっかり把握し、今後の経営改善に結び付けたい」等と活発な意見等を寄せていただきました。

令和元年度 農業簿記講習会

複式簿記の基礎を学び、パソコンを使った記帳に挑戦してみませんか？

複式簿記をマスターして農業経営力をレベルアップ！！

対象者 農業者（以下の①～③の要件を満たす方）
①パソコンをお持ちの方
②複式農業簿記ソフトを導入済み又は導入予定の方
③パソコン操作に慣れている方

定員 先着20名

参加費 テキスト代 1,650円

会場 どんとどんの森「アバンセ」
（佐賀市天神3-2-11）

講習会カリキュラム 全5回（座学講習会1回、パソコン活用講習会4回）

| 回 | 開催日 | 時間 | 講義内容 | |
|---|----------|---------------------|--------------|-----------------|
| 1 | 7月30日(火) | 13:30 ～ 16:00 | 座学 パソコン講座 | 複式簿記を学ぼう |
| 2 | 8月2日(金) | | | 複式簿記の基本記帳開始時の演習 |
| 3 | 8月9日(金) | | | 開始貸借対照表の作成仕訳演習等 |
| 4 | 8月20日(火) | | | パソコンで記帳しよう |
| 5 | 8月27日(火) | | | 決算・申告 |

申込方法 参加申込書を下記事務局へ送付してください。

締切日 令和元年7月12日(金) ※定員に達し次第締め切ります。

主催・お問い合わせ
一般社団法人佐賀県農業会議
〒849-0925 佐賀市八丁町8-1
TEL：0952-20-1810 FAX：0952-20-1818

5. 農業法人視察研修会を開催

佐賀県農業法人協会（会長・中島構治、事務局：農業会議）は、法人協会会員相互の連携・交流を図るため、7月10日に藤津郡太良町で現地視察研修会を開催し、会員25人が参加されました。



視察先は、同協会会員の有限会社永渕ファームリンク（代表・永渕政信）、A-n-o-k-e-r株式会社（代表・安東浩太郎）、株式会社明日香園（山口秀行代表）の3経営体で、養豚約900頭を営まれている①永渕ファームリンクは、「金星佐賀豚」の精肉・加工品の生産・販売や農場直営の豚肉専門レストランを展開し、2016年には、農場HACCP認証を取得されています。また、アスパラ75畝を栽培する②A-n-o-k-e-rは、2018年に

JGAP認証を取得するとともにオリジナルブランド「森のアスパラ」を生産・販売されています。さらに、花卉を栽培する③明日香園では、ケイトウのオリジナル品種を売りにしており、ケイトウ45万本、ユリ20万本を主体に不耕起栽培にこだわり、微生物による発酵作用が土に与える影響などを研究し、肥沃で植物に優しい土づくりを徹底されています。



視察した3経営体それぞれの特徴的な取り組みを紹介してもらい、参加者は今後の経営展開に活かそうと熱心に意見交換を行い見聞を深められました。

6. 全国農業新聞の普及推進について

「全国農業新聞」普及推進のお願い

今年度目標部数 1,600 部

目標まであと 224 部

9月現在部数 1,376 部

「情報提供活動」は、農業委員・推進委員の役割です！！
 全国農業新聞を普及することで農業者等へ情報を提供できます。
 農業会議では以下の普及資材を取りそろえていますので、是非ご利用
 いただき、まずは1部普及をお願いします！！



- ①エコバッグ
- ②軍手
- ③タオル
- ④ボールペン
- ⑤オリーブハンドクリーム
- ⑥スポンジ

- ⑦情報活動の意義と役割(A3・農委会向けリーフレット)
- ⑧一般用チラシ(A3・購読申込書兼口座振替依頼書付)
- ⑨一般用チラシ
- ⑩購読申込書兼口座振替依頼書
- ⑪行政書士向けチラシ
- ⑫農業経営に情報という肥料を撒く(A3・農家向けリーフレット)
- ⑬クリアファイル



※すべて無料

見本紙もご用意
 できます

★1個・10個・100個いくつからでも発送します★

ご利用の場合は、各農業委員会事務局もしくは
 農業会議へご連絡ください。

7. 常設審議委員会結果(R元年7・8月)

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第40回、第41回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

| | | | |
|------|-------|-----|---|
| 第40回 | 7月16日 | 第4条 | 1 |
| | | 第5条 | 6 |
| 第41回 | 8月16日 | 第4条 | — |
| | | 第5条 | 7 |

○田畑別件数及び面積(m²)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

| 回数 | 開催日 | 区分 | 田 | | 畑 | | 計 | |
|------|-------|-----|----|--------|----|-------|----|--------|
| | | | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 |
| 第40回 | 7月16日 | 第4条 | 1 | 4,232 | 0 | — | 1 | 4,232 |
| | | 第5条 | 5 | 27,171 | 2 | 5,849 | 6 | 33,020 |
| 第41回 | 8月16日 | 第4条 | 0 | — | 0 | — | — | — |
| | | 第5条 | 7 | 45,436 | 3 | 2,540 | 7 | 47,976 |

8. 今後の行事予定

| 月 | 日 | 時間 | 場所 | 内容 |
|----|-------|-------|-------------------|-------------------------|
| 9 | 11・12 | 14:30 | 鹿児島市 | 九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会 |
| | 17 | 13:30 | グランテ はがくれ | 第42回常設審議委員会 |
| | 18 | 9:00 | アバンセ | 農業者年金研修会(記録管理システム) |
| | 20 | 13:30 | 四季彩ホテル千代田館 | 第11回佐賀県農業委員会女性協議会総会・研修会 |
| 10 | 15 | 13:30 | グランテ はがくれ | 第43回常設審議委員会 |
| | 16 | 10:30 | 大阪市 | 農業委員会職員全国研究会 |
| | 21 | 14:00 | 唐津市 | 農業委員会職員地区別研修会(東西松浦) |
| | 28 | 10:30 | グランテ はがくれ | 第2回佐賀県農業委員会職員協議会役員会 |
| | | 13:00 | | 市町農業委員会事務局長会議 |
| | 29 | 10:00 | グランテ はがくれ | 農業委員会職員研修会(農地転用関係) |
| | | 13:00 | | 農業者年金担当者研修会(支給停止関係) |
| 30 | 14:00 | 佐賀市 | 農業委員会職員地区別研修会(佐城) | |
| 11 | 8 | 14:00 | 神崎市 | 農業委員会職員地区別研修会(三神) |
| | 13 | 14:00 | 白石町 | 農業委員会職員地区別研修会(杵藤) |
| | 15 | 13:30 | グランテ はがくれ | 第44回常設審議委員会 |
| | 27 | 13:00 | メルパルクホール(東京) | 農業者年金加入推進セミナー(予定) |
| | 28 | 12:30 | | 全国農業委員会代表者集会(予定) |